



令和5年11月16日

大仙市議会議長

あきたこまち R についての陳情書

住所:千葉県船橋市前原西 1-36-5
氏名:小瀧 隆仁
電話:080-1673-8029



陳情理由

令和7年(2025年)からあきたこまち R に全面切替されようとしています。つまりこれまでのあきたこまちは今後一切つくられなくなってしまうということです。私はあきたこまち R への全面切替へ不安を感じています。

まず、あきたこまち R について多くの人が知りません。私の親は秋田県の農家ですがあきたこまち R については知りませんでした。最近では新聞でも取り上げられるようになりましたが、もっと農家の人たちに知ってもらった上で広く意見を求めるべきだと思います。

次に放射線育種についてですが、これは本当に安全なのかわかりません。あきたこまち R の交配元であるコシヒカリ環1号は重イオンビームという人が浴びると死んでしまうほど強い放射線を当てて作られたと聞きました。こうして作られたお米が私たちの人体に安全なのか心配です。またコシヒカリ環1号はゴマ枯れ病等の稲の生育にとって悪い性質があると聞きました。あきたこまち R も同じ性質を持っている可能性があり、生育の面でも不安があります。そんなあきたこまち R に全面切替しても大丈夫なののでしょうか？

最後に全面切替に本当に必要なのでしょうか。そもそも秋田県でカドミウムの基準を満たせないお米の割合は多くても3%未満であると聞きました。この3%のために全面切替が必要なのか疑問です。

以上のことから私は令和7年からの全面切替を延期すべきだと考えています。このような旨の意見書を秋田県議会に提出し、県議会議員の方々にも同じようにお声がけをしておりますが、残念ながら聞き入れられることがありませんでした。そこで大仙市議会からは秋田県知事に対して延期の声を挙げていただけませんか？

陳情事項

秋田県知事へあきたこまち R の採用の延期すべしという意見書の提出



あきたこまちR って何？

重イオンビームという放射線をあてて、遺伝子の1塩基を破壊した「低カドミウム米」を今後の日本の主要な品種にしていこうという方針を農水省が2018年に決定しました。農水省は全てのお米を汚染されていない地域を含めて、100%放射線育種米に転換させる方針を立て、それを最も忠実に実行しようとしているのが秋田県。秋田県は2025年から放射線育種「コシヒカリ環1号」の後代交配種「あきたこまちR」に全量転換させる計画をしています。このままでは、従来の「あきたこまち」は秋田県では2024年で終わりになってしまいます。

安全性

県は「あきたこまちR」は「コシヒカリ環1号」を親に「あきたこまち」を7回も戻し交配を繰り返しているから、直接放射線を照射した放射線育種ではないし安全だとしています。しかし「あきたこまちR」は放射線で破壊された「コシヒカリ環1号」のOsNramp5という遺伝子を引き継いでおり、その点、「コシヒカリ環1号」と同等の放射線育種米であり、同じ問題を持ったままです。安全は確かめられていません。

情報公開の欠如

生産者や消費者、事業者など関係者に情報公開もなく、パブリックコメントもないまま「あきたこまちR」への全量転換が決定されました。県議会でも十分な情報は提供されず議論すらされていません。

カドミウム汚染のすり替え

3%未満の地域に広がるカドミウム汚染は明治維新以来、国策として進められた鉱山開発の結果であり、国や鉱山会社はその責任を取る必要があるにも関わらず、カドミウム汚染を地域から取り除くための包括的な汚染対策を放棄しようとしています。このままではカドミウム汚染は残り続け、真の解決にはなりません。そしてその負担は汚染されていない地域を含むすべての地域の農家と消費者に押しつけられます。

実害が生じる

「あきたこまちR」は遺伝子が壊されているため、植物や子供たちの成長にも欠かせないマンガン（ミネラル）不足による長期的な健康被害も気になります。この転換を秋田県は全国に先駆けて進めています。これは秋田県産米すべてに「風評被害」ならぬ実害を与える愚策です。

今後の懸念

放射線育種米を戻し交配により交配育種した元の種の特性に似た性質で特性に似た性質で同等品種群と設定できるのなら、親となる種子にどんな遺伝子組み換え技術が採用されたとしても、同一品種群とみなされる悪しき前例（今後のゲノム編集、遺伝子組み換えへの懸念）になる恐れがあります。

秋田だけの問題ではない

農水省は「コシヒカリ環1号」を親にした品種をすでに200品種以上準備しています。日本全国で栽培されているのは300品種、そのほとんどを置き換える方針です。「あきたこまち」だけでなく秋田県提供全品種「秋のきらめき」「ゆめおぼこ」「つぼぞろい」「ぎんさん」「サキホコレ」「めんこいな」もその準備が進んでいます。「あきたこまちR」を止めないと、日本のお米がすべて放射線育種になってしまいます。